

## 大学の世界展開力強化事業（平成24年度採択）中間評価結果

大 学 名	名古屋大学
整理番号	Ⅱ－2
構 想 名	ASEAN 地域発展のための次世代国際協力リーダー養成プログラム

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b style="font-size: 2em;">A</b>	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>本プログラムは、ASEAN 地域の経済社会発展の新たな局面に対応するため、かつてのトップ・ドナーだった日本の経験・知識を踏まえ、名古屋大学国際開発研究科が中心となり、連携先 ASEAN 諸大学と協力して、政府、国際機関、NGO、民間企業等で活躍する次世代の国際協力人材を養成することを目的としている。</p> <p>コースワークによる共通教育科目とインターンシップやフィールドワークによる研修からなる「共同教育プログラム」を開発することを中軸に据え、共通教育科目については、各部局が有する既存の科目を部局横断で学生の履修指導に組み込み、更に連携大学から寄せられた助言や要請を受けて、平成26年度後期から学部生・大学院生対象の共同教育科目を開発することとなっている。これら諸科目の講師には連携大学の教員も加わるように交渉中であり、今後の取組が期待される。</p> <p>また、インターンシップやフィールドワークによる研修については、連携大学からの要請を踏まえ、短期受入プログラムでは、NGO 団体、国連地域開発センター、旅行会社、商社、名古屋地区製造業集積地などでのワークショップや講義が付加され、短期派遣プログラムでは、在シンガポール日系企業への訪問機会が増加している。</p> <p>共同教育プログラムの開発という野心的な取組のため、中間評価までの長期の派遣・受入学生数の実績がやや数値目標を下回る結果となったが、教育課程の持続的な改善、民間企業との共同による危機管理、JASSO 奨学金制度の活用、長期受入学生リクルートの諸工夫などの取組によって、事業目的を達成することが期待される。</p>